

チーム1「まちに人を呼び込むためのアイデア、まちが連鎖的にきれいになっていくアイデアを考える」

具体的に？
(誰を対象に、
どこで、何を)

第1～3回		第4回		取組アイデア
現状	ポイント	ビジョンゲームの利用シーン	ポイント	
<p>●多様で個性的な資源は豊富だが、観光客の滞在は昼中心・日帰りが多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[上通]や[上乃裏通り]、[熊本城周辺]など、エリアごとに文化や歴史、個性ある店舗が集積 ・[上乃裏通り]では、古民家を活かしたりノベーション店舗など、雰囲気のある個性的な店舗が多い ・観光客の滞在は昼中心・日帰りが多く、多様な資源の魅力が十分に体験されていない可能性がある 	<p>①個性的な資源を活かして多様な目的地をつくる必要がある</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア毎の個性・資源を活かす ・時間帯別の過ごし方の魅力をつくる 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]アリーナでヴォルターズの試合、アマチュアスポーツ、音楽ライブ等が開催され、多様な年齢層の市民が訪れている ・来場者は周辺の飲食店を利用している  <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかで、市民も観光客も利用できるような朝市が行われている  <ul style="list-style-type: none"> ・屋外ステージ、屋上レストランなど夜のにぎわいがある 	<p>①集客力のある拠点の形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の集客 ・周辺への波及効果 <p>②一日を通してまちで過ごせる場づくりが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝市 ・屋外ステージ ・屋上レストラン ・観光客が楽しめるイベント 	<p>■まちの拠点となる集客施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(例)アリーナ
<p>●多世代が日常的に滞在できる居場所が不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に滞在できるカフェや休憩空間がまだ不足 ・多世代や子ども向けの施設が少ない ・雨天時や暑熱時に利用できる屋内の遊び場が不足 ・学生が利用できる自習スペースなども限定的で、日常利用の受け皿が弱い ・ホール等の文化施設はあるが、規模・価格・予約条件などにより市民が気軽に利用しにくい 	<p>②多世代が日常的に滞在できる居場所の充実が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に滞在できる場所 ・多世代・子ども向け施設 ・屋内の遊び場 ・学生向けスペース ・市民が利用しやすい文化施設 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]家族連れが日中に人の目を気にせず気軽に楽しめる、集まれる場所がある  <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]学生向けの自習室や大人向けの交流・学びのスペース等、放課後・仕事終わり・休日のサードプレイスがある  <ul style="list-style-type: none"> ・家族連れで一日中滞在できる場所がある(買い物、昼食、カフェ休憩、子どもの遊戯スペース)  <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかに朝や昼に高齢者が集う憩いの場がある 	<p>③家族連れから学生、高齢者まで多世代が気軽に滞在・交流・活動できる日常的なサードプレイスの形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー層向け ・学生向け ・ワーカー向け ・シニア向けのサードプレイス 	<p>■交流・学びのサードプレイスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後・仕事終わり・休日利用 <p>■既存施設を活用した子ども向け施設の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(例)美術館の常設展示の活用 <p>■中心商店街の低層部にカフェやランチができる店舗の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[下通、上通、新市街]1階に大きなカフェ ・[下通周辺の路地]ランチができる飲食店
<p>●TSMC進出による経済効果の期待を受けとめる場所が不足</p>	<p>③新規産業の受け皿が必要</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・[熊本城]平日・休日問わず、市民と観光客が多様な目的で滞在できる場になっている(≒セントラルパーク化) ・平日は近隣のワーカーがお弁当を持ってランチ ・土日祝日は親子連れが二の丸広場のサーカスや美術館、NHK跡の水族館を楽しんでいる ・朝夕は市民が周辺の整備された道をジョギングやサイクリングで楽しんでいる ・JT跡地、税務署跡地が駐車場化され、エスカレーターで坂を上るようになっていく  <ul style="list-style-type: none"> ・平日の会社員がオフィスの外で昼食や屋外ワークができる公園がある ・公園にキッチンカーが出店し、平日は会社員、休日は観光客が利用 ・子ども(小～中学生)が夕方に大学生と楽しく運動できる 	<p>④熊本城や周辺のオープンスペースを多世代が多目的に日常利用するための機能や仕組みが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣のワーカー ・ファミリー層 ・小学生 ・中学生 ・大学生 ・観光客(具体的に) 	<p>■白川公園のイベント活用</p>
<p>●まちなかに来街者の滞在や憩いの場となる大規模なオープンスペースがあるが、魅力や使われ方に偏りがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[花畑公園～辛島公園]、[白川公園]など、滞在や憩いの基盤となるまとまった広場や緑地がある ・[白川公園]は日常的な利用が少なく、にぎわいや滞在を生む空間として十分に機能していない(過去にはイベント利用等あり；植木市、早起き野球、サーカス等) 	<p>④目的地となる大小の魅力あるオープンスペースの創出・活用が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白川公園の利活用 ・商店街周辺の魅力的な広場創出 ・オープンスペースのネットワーク形成 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[オフィスゾーン]または[アーケード]の歩道、店舗軒先に中心部ににぎわい+緑も感じられる空間がある ・会社員、主婦層(子連れ含む)、シニア等が幅広く利用でき、観光客も楽しく歩ける 	<p>⑤にぎわいや緑を感じながら多様な世代が快適に回遊できる魅力的な歩行空間の創出が必要</p>	<p>■オープンスペースの確保・ネットワーク化の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助等：
<p>●商店街周辺には魅力的なオープンスペースやネットワークが不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[蓮政寺公園]や、民間開発により創出された小規模なオープンスペース(≒まちなか回遊の休憩場所)が点在 ・[中心商店街周辺]には目的地になるような魅力的な広場が不足 	<p>⑤通りごとの特性に応じた景観形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きたくなる街並みや滞在空間の形成 	 <ul style="list-style-type: none"> ・路地や店舗の軒先などに、市民、観光客がまちのにぎわいから離れて一息つける場所ある  <ul style="list-style-type: none"> ・散歩中の市民や観光客を通りの奥に引き込む雰囲気の良い場所がある 	<p>⑥まちの奥へと人を引き込む空間づくりが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道、店舗軒先、路地等の滞在空間の創出 ・市民、観光客、多世代の利用 	<p>■電車通りのトランジット化</p>
<p>●白川や坪井川など、水辺と一体となった豊かな緑が存在するが、アクセシビリティや滞在機能が十分ではない</p>	<p>⑥エリア全体に回遊を広げるために、ゾーン間の人の流れを誘導する動線が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人流の分断を解消する工夫 ・熊本城方面との回遊性向上 	 <ul style="list-style-type: none"> ・散歩中の市民や観光客を通りの奥に引き込む雰囲気の良い場所がある 	<p>⑦多様な主体が協働し、課題発見から実証・実装、維持管理まで一体的に進める仕組みづくりが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体の参画(民間事業者、市民等) 	<p>■フリンジパーキングの整備</p> <p>■駐車場税の導入</p>
<p>●歩きたくなる魅力を感じる通りと、街並みの印象や個性を感じにくい通りがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[オークス通り]並木や総合設計制度で創出されたセットバック空間等雰囲気が良い ・[光琳寺通り、西銀座通り、プールのコート通り等]通りとしての連続性を感じにくい 	<p>⑦人中心の安全で快適な空間の整備が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩車分離 ・滞在機能 ・夜間環境等 	 <ul style="list-style-type: none"> ・民間活力を活かした課題の発見とまちづくり→地元住民、商店街等の協働による維持管理  <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体とまちづくりの実現方法を考え、実証活動から実現に向けた取組を推進している  <ul style="list-style-type: none"> ・公園等で市民が協力して活動できるまちになっている 	<p>⑧通り毎の組織づくり・体制強化、勉強会の開催、ルールづくり</p>	<p>■熊本城から商店街方面へ人の流れを誘導する回遊動線の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城の開かずの門を開く ■金券による回遊促進 <p>■[上乃裏通り]の歩行者空間化</p> <p>■中央区役所周辺の街灯整備</p>
<p>●公共交通と歩行者ネットワークの骨格はあるが、幹線道路等で回遊が分断されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[電車通り]が公共交通(市電・バス)の骨格軸 ・商店街周辺には[並木坂～新市街]までの軸線を横断する細街路が歩行者周辺の回遊インフラを形成 ・幹線道路等で人の流れが分断 	<p>⑧エリアの個性を維持・継承していくためのルールや仕組みづくりが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーンの魅力形成・維持の仕組み 			<p>■[上乃裏通り]の歩行者空間化</p> <p>■中央区役所周辺の街灯整備</p>
<p>●観光動線が熊本城周辺に集中し、商店街方面への回遊が生まれにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城に多くの観光客が訪れるが、本丸との出入口が限定的 	<p>⑧商店街の通りやゾーンごとの魅力がある一方、個性の継承の仕組みが不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[上乃裏通り]など、独自の雰囲気や魅力を持つゾーンが形成されているが、その良さを継承していく仕組みがない ・商店街周辺ではマンション開発が進行するなど、将来的にエリアの個性の希薄化が懸念される 			

チーム2「熊本を元気にするコンテンツを考える」

具体的に？
(誰を対象に、
どこで、何を)

第1～3回		第4回		取組アイデア
現状	ポイント	ビジョンゲームの利用シーン	ポイント	
<p>●通り毎に個性ある魅力が形成されているが、面的な回遊につながっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化・歴史・店舗コンセプト等により、通り毎の多様な個性を形成 [上乃裏通り]通り全体の街並みの統一感がなく、お店が点在しているため、外から来た人は魅力が分かりにくい 個店依存で継承が難しい 地域情報を集約・発信する仕組みが不足 新区役所周辺が行きたい場所になっていない 	<p>①通りやゾーン毎の個性ある資源を活かし、賑わいと回遊を面的に拡大する仕組みが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゾーン毎の魅力の形成と発信 	<p>・2040年には外国人、移住、企業の進出が進み、[現庁舎跡地]の施設に世界企業登録型のコワーキングスペースができています</p> <p>・プライベートオフィスとのハイブリッドな空間(県外や世界企業とのコミュニティの場)や、ウェルネスエリア(スポーツジムなど)も整っている</p> <p>・上通・下通のように出来上がっていないところで、朝市、夜市、フリーマーケットが行われている</p> <p>・ワーカーやファミリー、子ども達が過ごす「時」と「場」が、城域、城内にあると良い</p> <p>・子ども達がスポーツなど体を動かせる場所が城内にある</p> <p>・今あるオープンスペースを有効活用して、屋外に常設でキッチンカーが出店できるスペースや飲食できるスペースがあり、賑わいが見える</p> <p>・サクラマチの前にちよこんと座って会話したりご飯を食べたりできるスペースがあり、憩いの広場になっている</p> <p>・シンボルアートが人々が集まる待ち合わせスポットになっている</p>	<p>①多様な人材や企業が集い、働き、交流するための拠点機能が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> コワーキングスペース プライベートオフィス <p>②オープンスペースの活用等を通じて、まちに日常的な賑わいと多様な過ごし方を生む仕組みが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な属性が過ごせる機会と場 朝市、夜市、フリーマーケットの開催 体を動かせる場 キッチンカー出店など飲食できる場 	<p>■ 現庁舎跡地</p>
<p>●時間帯・ゾーン毎に人の流れに特徴があり、下通周辺はナイトタイムの賑わいが強い</p> <ul style="list-style-type: none"> [上通]は夜になるとずっと人が引き、[下通]は若い人が遅くまで滞在し、夜の賑わいがある 	<p>②時間帯やゾーン毎の特性を活かし、賑わいと回遊の広がりをつくる必要がある</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上通・下通の特性の違い 	<p>・夜景スポットのような夜の居場所がある</p> <p>・大人で飲食できる交流スペースと夜に開催されるイベントが増え、人が集まっている</p>	<p>③夜の居場所や交流スペースの創出が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜景スポット 夜間利用できる交流スペース 	<p>■ 新区役所周辺</p> <p>■ デザイン・景観コードの設定</p>
<p>●坪井川や白川沿いの緑資源や水辺空間などが、積極的に活かされていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本城や河川、[坪井川沿い]の市民活動により育ててきた桜などの象徴的な緑資源が存在 緑資源を活かした空間が不足 	<p>③河川や緑地などの資源を活かした魅力の創出が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑資源を活かす空間の創出 	<p>・緑が豊かな熊本の水を楽しめる場で、子ども達が自由に遊んでいる</p> <p>・緑、花で綺麗に彩られ、四季を味わいながら歩くことが楽しめる「歩きたくない」歩道がある(既存の花壇や樹木を活かす)</p> <p>・長堀通りから新庁舎周辺に、歩行者専用道路や広場などの歩きやすい空間が(段階的に)できている</p>	<p>④緑や水などの地域資源を活かした公共空間の活用が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊び場 歩行者専用道路+広場 花壇や街路樹による四季の彩り 	<p>■ 新庁舎周辺</p> <p>■ 歩行者専用道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 広場の整備
<p>●居住環境としての魅力が高まっているが、商業・賑わい機能との関係性が整理されていない</p> <ul style="list-style-type: none"> [上通][並木坂]周辺では生活利便性の高さからマンション(まちなか居住)が増加 	<p>④商業と住宅が共存し、相互に価値を高めるエリア形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちなか居住と商業のバランス 	<p>・子育て世代がご飯を食べたり、買い物をしたり楽しく利用できるスペースがあり、小さな頃からまちに来るのが当たり前環境ができている</p> <p>・子どもが集まり、親やおじいちゃん、おばあちゃんも集まり、まちが親しんだり、憧れの場になっている</p> <p>・多世代(子ども、家族等)、多様な人達(外国人含む)が、安心・安全に、カフェ・飲食サービス等を楽しめる</p>	<p>⑤子どもを中心に多世代が日常的に集い、まちに愛着を育むことができる居場所の形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲食・買い物等が楽しめる 安心・安全に利用できる 	
<p>●商店街等歩行者回遊の基盤はあるが、一部の通りでは歩行者の通行環境に課題がある</p> <ul style="list-style-type: none"> [電車通り]市電・バスなど公共交通で人が流れる骨格を形成 [中心商店街]店先に椅子を出すなど、通り毎に歩行空間の工夫がされている [上乃裏通り]歩行者と車が混在し、安全性や安心感が低い 	<p>⑤人中心の歩行環境の整備が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩車のすみ分け、通過交通の排除 休憩スペース等歩行空間の工夫 	<p>・個店が通りに露店を出し、歩行者が足を止めて地元のお店の個性を知るきっかけになっている</p> <p>・[並木坂]店先やテラス席を利用できる飲食店があり、利用しやすい</p> <p>・電車通り、上通、下通からにぎわいエリアへ歩行者専用の雨に濡れない空間があり、周辺にも良い影響が出ている</p>	<p>⑥個店の魅力に触れながら気軽に利用・滞在できる通りの形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 店先空間の活用 <p>⑦雨天時でも快適に回遊できる歩行者ネットワークが必要</p>	<p>■ [上乃裏通り]制限速度を下げる</p>
<p>●路地やリノベーション物件がゾーンの個性を生む一方、防災上の問題がある</p> <ul style="list-style-type: none"> [上乃裏通り]古民家等を活用(リノベーション)した物件の魅力と新しい出店者を受け入れる寛容さがある 狭い道路沿いに木造建物が集積しているため防災上の問題がある 	<p>⑥まちの個性と防災性・安全性の両立が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災性の確保 	<p>・[上乃裏通り]古民家を活用した店舗が点在し、まちの見どころになっている</p>	<p>⑧ゾーンの魅力を高める古民家活用やリノベーションの推進が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古民家活用の更なる推進 	
<p>●裏通り等では個性的な店舗が出店しやすい環境がある一方で、商店街ではエリアの方向性を定めにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> [上乃裏通り][辛島町周辺～新町・古町]等では、コンセプト性のある店舗が出店し、新たな客層を捉えている 流行変動やEC普及による影響等で小売業等は見通しが立てにくい 出店調整や賃貸借支援を担う専門的な役割が必要 	<p>⑦商業環境の変化を捉えた商店街等の方向性の設定と業態の定着を支える仕組みが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出店調整・リーディング支援 			
<p>●建替えや開発が進みにくい構造的な問題を抱えている</p> <ul style="list-style-type: none"> [下通]権利関係の複雑さ、後継者がいない、建設コストの高騰等で従来のスキームが成立せず、建物更新が停滞 	<p>⑧権利調整や事業化を支援する仕組みが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物更新のインセンティブ 			

チーム3 「庁舎跡地の利活用と電車通りエリアの面的な開発を考える」

具体的に？
(誰を対象に、
どこで、何を)

第1～3回		第4回		取組アイデア
現状	ポイント	ビジョンゲームの利用シーン	ポイント	
<p>●来街目的となる資源やポテンシャルはあるが、「滞在したくなる目的地」が不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 集客力の高い熊本城に近く、観光客流入のポテンシャルが高いエリア 熊本城を望める視点場も点在 福岡から日帰りツアーのバスが出ているなど、熊本城の観光客は昼中心・日帰りが多い 夜まで留まってもらえる目的が不足 	<p>①滞在時間を延ばすために、エリア全体で付加価値のある目的地の創出が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本城に近い立地、視点場を活かす 夜まで留まる目的をつくる 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[花畑広場、花畑公園]イベントがなくても人が憩い、ワーカーがランチをしに集まる 	<p>①多様な属性の目的地になる居場所が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーカーがランチができる公園 ・子どもの遊び場 ・区役所に学生が集まるスペース・仕組み 	■
		 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがまちなかで遊ぶところがある 		
<p>●電車通りはまちの骨格だが、都市活動の軸として活かしきれていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[電車通り]は公共交通の骨格であり、沿道の敷地規模も大きく、投資を呼び込みやすい条件を備えている ・オフィス街の一部では、低層部に商業テナントの入居も見られる ・沿道には街路樹があり、花壇では一人一花運動(パートナー花壇)を実施 ・オフィス中心で低層部ににぎわいが乏しく、夜間・休日は人通りが少ない ・夜間は建物の明かりがなく、暗い 	<p>②都市活動の軸(電車通り)を“にぎわいと投資を生む軸”へ転換することが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人通り創出のための低層部への賑わい機能の導入 ・夜間の明かりの確保 	 <ul style="list-style-type: none"> ・全天候型の空間ができて天候に左右されず滞在できる 	<p>③集客・滞在につながる体験型コンテンツが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に観光客が参加できる 	■
		 <ul style="list-style-type: none"> ・[上乃裏通り]が(時間帯により)歩行者専用化されて歩きやすい通りになっている ・路地の間にベンチや植栽が置かれ、狭い空間が隠れ家のようにになっている 		
<p>●拠点となるべき場所の方向性が見えづらく、民間投資につながりにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎跡地は熊本城に近い立地で、人を呼び込めるポテンシャルが高い ・地権者、事業者目線では、現庁舎跡地がどうなるか+周辺のエリアも含めた方向性が示されると、土地活用について考えやすい ・行きたくなるシンボリックな空間が必要 	<p>③現庁舎跡地を核とした、投資を呼び込むゾーンの戦略が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城に近い立地を活かす ・まちづくりの方向性の設定 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[電車通り]新庁舎・現庁舎跡地を訪れた人が、電車通りに並んでいるカフェやレストランで食事ができ、これまで訪れなかった人が来るきっかけになっている ・ガラス張りのファサードで通りから活動が見える 	<p>④電車通りに新たな目的地の創出が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ、レストラン ・非日常イベント ・通りから活動が見える 	<p>■電車通り低層部への賑わい用途の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発等の大規模な投資を呼び込むために、投資意欲を高める取組を推進→まずは人通りを増やして賃料を上げる ・業務→商業機能転換のためのインセンティブとして、リノベーション(イニシャル投資)の行政支援を導入 ・新築/建替え時の賑わい用途の誘導(機能：) ・新築/建替え時の補助金等の行政支援
		 <ul style="list-style-type: none"> ・[電車通り]地域住民、観光客が日中に休憩できるよう、歩道空間やセットバックしたスペースにイス・テーブルが設置されている(ルールが整備されている) ・来街者が滞在できる空間をつくることで、路面店を誘致しやすくなる ・[上通、下通、並木坂]なども同様 		
<p>●電車通りに民間投資を呼び込みたいが、事業環境が整っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利関係の複雑さや物価高騰による採算性の問題等により、開発や建物更新が進みにくい ・容積率、高さ規制の緩和をしても、なかなか収支が合わない 	<p>④電車通りに民間投資を呼び込むための方針とインセンティブの提示が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資意欲を高めるインセンティブをつくる 	 <ul style="list-style-type: none"> ・通りが賑わうことで様々な非日常イベントが生まれ出され、単発だけではないイベントや空間の使い方が始まる(例：低層部でブランドがプロモーション) ・アート、デザイン、非日常イベントなどが街の魅力になり、文化的資本の蓄積によりさらに街が賑わう好循環ができていく 	<p>⑤電車通りの滞在を促す空間の確保が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩できる歩道、セットバック空間 ・歩道活用のルール整備 ・ビル低層部の緑化 	■
		 <ul style="list-style-type: none"> ・[電車通り]イベント等があるときには街灯にフラッグが飾られ、まちが華やかに彩られている 		
<p>●電車通りに民間投資を呼び込みたいが、事業環境が整っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利関係の複雑さや物価高騰による採算性の問題等により、開発や建物更新が進みにくい ・容積率、高さ規制の緩和をしても、なかなか収支が合わない 	<p>④電車通りに民間投資を呼び込むための方針とインセンティブの提示が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資意欲を高めるインセンティブをつくる 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]市民がおしゃべりや待ち合わせする憩いの場として、自然と人が集まる場がある ・キッチンカー出店などのイベント開催やピクニックなどもでき、市民と観光客が憩う場になっている 	<p>⑥まちの魅力や一体感を高める景観演出等の仕組みが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッグ広告のマネジメント 	■
		 <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]多くの人が足を止めてビジョンを見るなど、幅広い世代が集まれる空間ができていく ・ビジョンは今までにない最先端技術を用いたものだ面白い ・ビル内にはおしゃれなテナントが入っている 		
<p>●電車通りに民間投資を呼び込みたいが、事業環境が整っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利関係の複雑さや物価高騰による採算性の問題等により、開発や建物更新が進みにくい ・容積率、高さ規制の緩和をしても、なかなか収支が合わない 	<p>④電車通りに民間投資を呼び込むための方針とインセンティブの提示が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資意欲を高めるインセンティブをつくる 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]多くの人が足を止めてビジョンを見るなど、幅広い世代が集まれる空間ができていく ・ビジョンは今までにない最先端技術を用いたものだ面白い ・ビル内にはおしゃれなテナントが入っている 	<p>⑦現庁舎跡地に、新たな集客・滞在拠点となる機能の確保が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客のキラーコンテンツ ・自然と人が集まる憩いの場 ・人が集まる空間+ビジョン 	■
		 <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]多くの人が足を止めてビジョンを見るなど、幅広い世代が集まれる空間ができていく ・ビジョンは今までにない最先端技術を用いたものだ面白い ・ビル内にはおしゃれなテナントが入っている 		
<p>●電車通りに民間投資を呼び込みたいが、事業環境が整っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利関係の複雑さや物価高騰による採算性の問題等により、開発や建物更新が進みにくい ・容積率、高さ規制の緩和をしても、なかなか収支が合わない 	<p>④電車通りに民間投資を呼び込むための方針とインセンティブの提示が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資意欲を高めるインセンティブをつくる 	 <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]多くの人が足を止めてビジョンを見るなど、幅広い世代が集まれる空間ができていく ・ビジョンは今までにない最先端技術を用いたものだ面白い ・ビル内にはおしゃれなテナントが入っている 	<p>■電車通りゾーン</p> <p>■共同建替への行政支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金等： 	■
		<ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]多くの人が足を止めてビジョンを見るなど、幅広い世代が集まれる空間ができていく ・ビジョンは今までにない最先端技術を用いたものだ面白い ・ビル内にはおしゃれなテナントが入っている 		

チーム4 「まちの回遊と、目的地となる魅力的な場所を増やすアイデアを考える」

具体的に？
(誰を対象に、どこで、何を)

第1～3回		第4回		取組アイデア
現状	ポイント	ビジョンゲームの利用シーン	ポイント	
<p>●通り毎に文化・空間・時間帯の異なる魅力が形成されているが、賑わいが少ないゾーンも存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[並木坂]音楽が聞こえる ・[上乃裏通り]古民家を活かしてリノベーションした個性的な店舗が多く、雰囲気がある ・[銀座通り・西銀座通り]夜の賑わいがある、昼の賑わいは少ない ・[坪井川沿い]緑豊かで[長堀通り]は眺めがよく歩いて気持ちが良い通り ・[現庁舎]や[市民会館]など、多様な視点場が存在 ・[白川公園]利用者が少なく、日常的な滞在や賑わいにつなげていない ・[下通東側(中央街等)]平面駐車場が多々さびしいゾーン 	<p>①エリア全体の魅力を高めるため、多様なゾーンの個性を活かした目的地の創出が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の少ない時間帯、場所、ゾーン 	 <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか(日常)で、祭り(非日常)が行われている ・お祭りは県民性が表れている <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・多世代が交流するきっかけがある <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・若者や子どもたちが、決まった目的がなくても集まれるような公園があり、まちに行く1つのきっかけになっている <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがまちづくりに参加できる空間がある ・多世代が同じ空間にいる <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城のある景色を眺められるビルの屋上や水辺などオープンだけどプライベートな空間で、友人と食事ができる ・夜も夜景を眺めながら、食事ができる <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]まちなかに子どもたちが無料で遊べる空間があることで、親が役所にいるときに、子どもは遊んでいる ・[駐車場]空間を有効的に活用している <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・[現庁舎跡地]集客力のある施設ができ、人通りが生まれ、周辺の飲食店等の活性化にもつながっている (例)まちのシンボルになるスポーツジム 	<p>①多様な属性の目的地になる居場所が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流 ・子どもの居場所 ・若者の居場所 ・友人と過ごせる ・プライベート空間 ・夜の居場所 	
<p>●歩行者回遊の基盤や魅力的な歩行空間はあるが、動線の分断等により、エリア全体に回遊や滞在が広がっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[並木坂・上乃裏通り]藤崎宮前駅からの通勤動線など人の流れがある ・[新市街]下通～桜町・花畑町をつなぐ動線 ・[長堀通り]景観が良く、歩いて気持ちの良い空間がある ・熊本城に観光動線が集中し、商店街への流れが弱い ・[電車通り]歩道橋が利用されにくく、横断動線が弱い ・[長堀通り]行幸橋以西が行き止まり的で回遊性が低く、人通りも少ない ・国道・白川などにより人の流れが分断されている 	<p>②人流の分断を解消し、回遊と滞在を促進する歩行者ネットワークの強化が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人流の分断を解消する工夫 ・熊本城方面との回遊性向上 	 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道や店舗の軒先が滞留性と流動性が半分半分あるような場所になり、次の目的地を目で探しながらまちを知るきっかけになっている <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・街のなかに昼の時間にちょっと一息入れることができる場所がある ・昼は高校生から主婦の方、夕方からはお店を経営している人が夜の仕事に出る前にお茶をしている <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・オープンな場所に自由度高く過ごせる空間があり、通行している人と滞留している人が同じ空間で見る・見られるの関係ができています ・場づくりの雰囲気が治安維持にもつながり、子ども連れや高校生も安心して過ごしている <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・[川沿い、長堀通り]台湾の夜市も参考に、新しい夜の賑わいが生まれている(インフラ投資は少なく、規制緩和で実現) <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・観光、まち歩き(シンボル)になっている ・立体ポケットパーク ・水辺近く等に位置し、涼む・休憩する場所にもなっている <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・[長堀通り]塀や道路、ビル壁面等に夜の街に文化的なイメージのアートや音楽を取り入れている 	<p>③多様な人々が安心して滞在・交流でき、滞在と回遊が共存する居心地のよい空間と、昼夜を通じた賑わいを生む仕組みづくりが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道、店舗軒先、川沿いの活用 ・子ども、高齢者、主婦層、店舗経営者等の利用 ・目的地になるシンボル ・アート・音楽の導入 	現庁舎跡地
<p>●公共交通やシェアサイクルの利便性が高いが、徒歩だけではエリア全体を回遊しづらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルが普及し、自転車利用のニーズが高まっている ・市電やバスなど公共交通の利便性が高く、目的地に応じて起点・終点を柔軟に選べる環境がある ・まちなかを巡るには距離があり、徒歩だけでは回遊しづらい場面がある ・まちなかを周遊できる、分かりやすい公共交通があるとよい 	<p>④回遊を促進する公共交通やシェアモビリティの効果的な活用が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起点・終点を選べる移動手段 ・周遊バス等 	 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客だけでなく市民も一緒に楽しめる新しいまちの魅力発見ツアーがある ・まち歩きは疲れるので、高齢者や子ども連れでも楽に回遊できるお楽しみツアーがある <hr/>  <ul style="list-style-type: none"> ・年配の方や観光客のまちなかの移動に有効的に使われている (まちなかへのマイカー乗り入れを減らすという視点で導入すると面白い) 	<p>④市民も観光客もともに楽しめる移動・周遊手段が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子ども連れが利用しやすい ・マイカー流入を抑える ・グリーンスローモビリティ/マイクロモビリティの活用 	
<p>●駐車場は一定量存在するが、需給の実態が不明確で今後の方向性が定まっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[下通東側(中央街等)]に駐車場が多い ・[新市街]近隣の駐車場を利用する車両等の横断により、アーケード内の通行の安心感が低い ・現庁舎の移転に伴い駐車場の減少が見込まれる ・エリア全体の駐車場は減少しているものの、利用率は大きく変わっていない 	<p>⑤駐車需要の実態を踏まえた適正な配置とあり方の整理が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の効果的な配置 			<p>■フリンジパーキングの整備</p> <p>■駐車場への荷捌き機能の整備</p>

チーム5「庁舎跡地利用をきっかけに、まち全体の価値を高めるアイデアを考える」

具体的に？
(誰を対象に、どこで、何を)

第1～3回		第4回		取組アイデア
現状	ポイント	ビジョンゲームの利用シーン	ポイント	
<p>●「熊本らしさ」をつくる都市の特性や市民性がある</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本のまちなかは、九州の中心に位置 熊本空港と海の中央に位置 西環状道路・北バイパス・東バイパス等に囲まれ、周辺には熊本駅・上熊本駅・水前寺・南熊本駅等が存在 都市規模はコンパクトで回遊しやすい 市民はトレンドに敏感な“わさもん”気質で、新しいものへの感度が高い土壌がある 地下水の豊かさや食材の美味しさが魅力 	<p>①熊本らしさや個性ある多様なゾーンで構成されるまちの特性を活かすことが必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいものを取り入れる まちの多様性を活かす(機能、街並み、緑など) 	 <ul style="list-style-type: none"> 屋外空間の居場所が増えて、ダイナミックな屋外空間もできている まちの歴史・文化や沿道店舗の慣習などに合った道路の使い方やデザインがされている                 	<p>①オープンスペースを活かした多様な使い方ができる滞在空間や居場所の創出が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイナミックな屋外空間 道路空間の活用 木陰の休憩スペース 	
<p>●商業・居住機能、緑が組み合わせられた多様な通りやゾーンが形成されているが、一部では魅力が伝わりにくいエリアもある</p> <ul style="list-style-type: none"> 独自のコンセプトやリノベーションされた店舗が通りごとの個性を生み出している [並木坂]石畳 [オックス通り]ブティック [上通][上乃裏通り]ブティック、住商混在 [通町筋]中規模商業施設 [下通周辺]商業集積、鳥屋 [シャワー通り周辺]石畳、スタバ・マック [辛島町南側]は地区の境界部に位置し、良さが伝わりにくい [上通周辺]はマンション建設が進み、まちなか居住も一つのテーマ [白川沿い]や[オックス通り]など、都市の中に豊かな緑がある 	<p>②まちへの入り口となるノードの形成や、熊本城とまちをつなぐ動線の強化が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電車通り 現庁舎跡地 新中央区役所、花畑ポンプ場周辺 	 <ul style="list-style-type: none"> 人口減少によりコンパクトなまちづくりが求められており、比較的まちの近くにマンションをはじめとした住宅が増えている 雨でも濡れずに買い物ができるアーケードを活かして、マルシェなどが開催されている                 	<p>②人々が集い、熊本らしいコンテンツを楽しめる場や機会が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> マルシェ@アーケード 夜市@白川 スポーツ 	
<p>●バスターミナルや主要な交差点が結節点となり、まちの内外をつないでいるが、熊本城とまちとの回遊性が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な交差点や辻がまちなかへの入口・結節点になっている [桜町バスターミナル]は交通結節点かつ回遊の起点 熊本城～まちの人の流れをつくる必要があり、[電車通り]は熊本城とまちをつなぐ大事なゾーン 新庁舎整備に伴い、現庁舎跡地、新中央区役所、花畑ポンプ場周辺の活用が必要 	<p>③熊本城を活かした景観形成や視点場の保全等が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本城への眺望の確保 視点場の多様性 	 <ul style="list-style-type: none"> [現庁舎跡地]熊本城とまちなかの重要な場所をつなぐ結節点・ハブとして、人々の往来を促す仕掛けがされている サクラマチ(交通の拠点)と差別化された目的を持って来る場所+中心市街地の他の場所にも人を流す場所になっている                 	<p>③熊本城とまちなかを結ぶ結節点として、拠点性と回遊性を高める賑わい機能と動線の構築が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の流れを生む仕掛け 多世代、地元住民、観光客の交流 熊本らしさ 	<p>■現庁舎跡地～新中央区役所周辺</p>
<p>●まちなかに熊本城を望む多様な視点場や城下町景観がある</p> <ul style="list-style-type: none"> まちなかには、熊本城を望む多様な視点場が点在 [熊本城]～[長堀通り]を観光客が散策している 人の流れをつくるためのデッキ等を整備する際は、視点場の眺望を妨げないようにする必要がある 	<p>④熊本城のある景観の中で、まちの魅力に出会い、体験できる空間形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本城との見る、見られるの関係 まちなかの通り抜け空間→偶然の出会い 夜景×体験 	 <ul style="list-style-type: none"> [熊本城周辺(長堀通り等)]市民、観光客が明け方にお城周辺を散歩またはランニングしている(お城を見ながら、お城からまちを見ながら)                 	<p>④熊本城のある景観の中で、まちの魅力に出会い、体験できる空間形成が必要</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本城との見る、見られるの関係 まちなかの通り抜け空間→偶然の出会い 夜景×体験 	<p>■まちへのゲート空間の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> [新庁舎～新中央区役所建設地周辺]現庁舎向かいの三角地をゲートにして、熊本城からまちに観光客を導いてはどうか <p>■新庁舎～現庁舎跡地周辺</p>